

FURUSHO LAB.



所在地：熊本県熊本市上通町1-24
面積：約80m²
施主：(株)古荘本店
設計・施工：(株)美創
オープン：平成20年2月

創業131年もの歴史ある「古荘本店」が開設した、デザイン性を高めたカフェ風の商談スペース“コラボレーションルーム”。照明は、LEDダウンライト「E-CORE100」調光形を中心に「ライティングレール用LEDスポットライト」などが採用されています。

LED照明を採用し、高演色を図りつつ、省エネ・CO₂を削減

ファッションを中心に一般小売・百貨店・量販店などの形態に合った“モノ・サービス”を提供されている「古荘本店」。最近ではドコモショップやゼロックスの代理店、東芝エレベータ代理店など事業内容を拡大されており、これに伴って取引先との商談や会議など知（ナレッジ）の共有を図るコラボレーションルーム「FURUSHO LAB.（フルショウラボ）」を設置。大型スクリーンや同社が取扱う衣料品を展示したディスプレイケースを備えたコミュニティ（プレゼン）ゾーン、ITシステム構築や製品PRのディスプレイを配置したインフォメーションゾーン、ソファが配置され、ゆったりと会話のできるリラックスゾーンで構成されています。

高効率で任意の照度設定可能な「E-CORE100」調光形の採用によりプレゼンを効果的に演出

コミュニティゾーンのベース照明は、高効率LEDダウンライト「E-CORE100」調光形を14台採用し、100W白熱灯器具と同等以上の明るさと高効率で、省エネ、CO₂も大幅に削減。大型スクリーンによる企画提案を効果的に演出できるように明るさを任意の照度に設定可能とし、広角タイプ（ビーム角85°・電球色相当）により広がり感を創出しています。ベース照明のほか、FHP32W4灯用器具を採用し、照度アップや様々な用途に対応できるように単独点灯使用も可能にしています。また、壁面及びディスプレイケース内に40W/ハロゲンランプユニバーサルダウンライトを採用して展示物を際立たせ、ディスプレイケース内のガラス床面下部にHf32Wトラフを12台内蔵し、展示物の質感、テクスチャを再現する工夫を取り込んでいます。

インフォメーションゾーンの照明は、ベースにFHP32W4灯用器具を採用しているほか、壁面に沿ってE-CORE100を7台用いて奥行き感をもたせています。また、奥の壁面ディスプレイ用照明として、ライティングレール用LEDスポットライト8台（白色相当LED×3個・ビーム角18°）を設置し、デリケートな展示対象物への照明も可能にしています。



コミュニティゾーンのLEDダウンライト「E-CORE100」調光形みの点灯時（100%調光）



LEDスポットライトによるインフォメーションゾーンの照明

E-CORE100のみの点灯で調光30%時



リラックスゾーンの照明

E-CORE100（調光100%）とベースライトとの併用点灯時（ディスプレイケース内も点灯）



「E-CORE100」調光形タイプ FLコントロールスイッチ

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	LEDダウンライト「E-CORE100」調光形	LEDD-70007L-LD1	14	LED消費電力：7.8W
	LEDダウンライト「E-CORE100」	LEDD-70003L-LS8	7	LED消費電力：14.2W
	LEDスポットライト	LEDS-33101W-18	8	LED消費電力：7.5W
	ベースライト	FHR-34326K-PR9	4	32Wコンパクト形蛍光灯ランプ×4
	トラフ	FHT-41007N-PA9	12	32WHf蛍光灯ランプ
	ユニバーサルダウンライト	IHD-2584M(W)	6	40W/ハロゲンランプ
	ダウンライト	IHD-2585N(W)	4	100W/ハロゲンランプ